



beatnic.jp's

## BassBoy+

Digital based monophonic MIDI controlled  
bass synthesizer

## Owner's manual

## 取扱説明書

本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

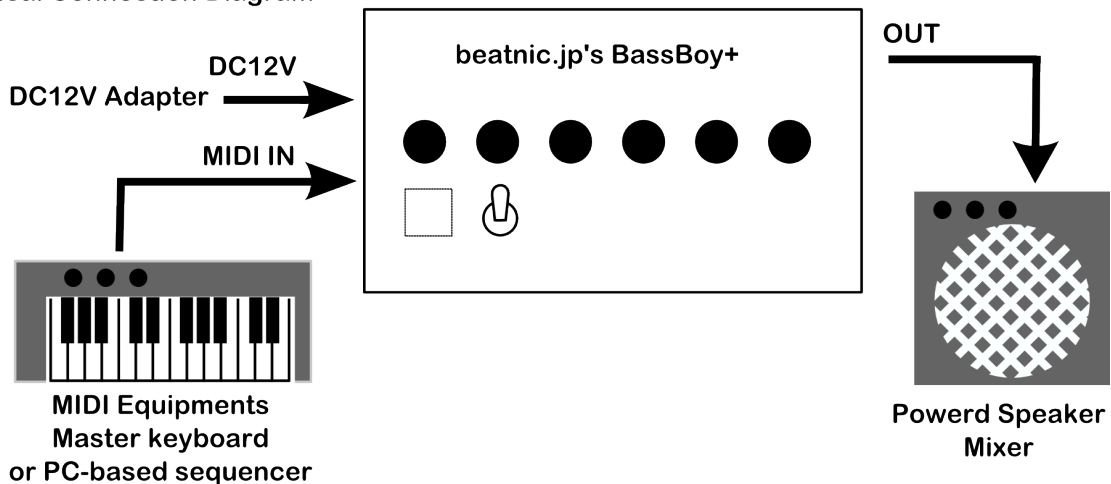
beatnic.jp's BassBoy+ は、デジタルで構成された MIDI コントロールのモノフォニックベース用シンセサイザーです。内部には、セビリアに住む友人、Aleksandar Krstic 氏が開発した BassBoy というワンボードシンセサイザーが内蔵されています。これにフィジカルコントローラーを追加し、オリジナルのケースに入れたのが BassBoy+ となります。いわば、国境を越えたコラボレーションから生まれた製品ともいえます。

以下の注意事項にご留意頂いて、末長くご使用いただければ幸いです。

- ・ 極端に気温や湿度の高い場所、特に水しぶきがかかるような場所でのご使用はお控えください。
- ・ 不安定な場所や、落下の可能性のある設置への設置はお控えください。
- ・ 本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤などで軽く拭くようにして下さい。強くこすると塗装が落ちる可能性があります。

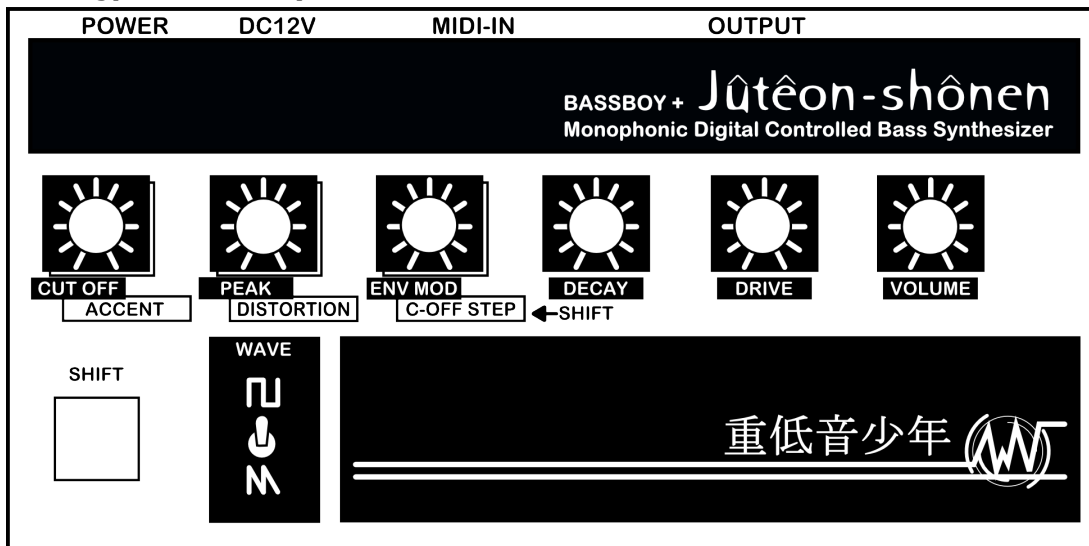
## 【beatnic.jp's BassBoy+の接続】

### Typical Connection Diagram



図は、標準的な beatnic.jp's BassBoy の接続例です。AC アダプタは beatnic.jp's Mountain 付属のものか、beatnic.jp 推奨のものをお使いください。

## 【beatnic.jp's BassBoy+のパラメーター】



BassBoy+のフロントパネルには、2つのスイッチと6つのツマミがあり、これらで内部のBassBoyのすべてのパラメーターをツマミとスイッチで操作することができます。また、BassBoy+のMIDI-INに入ったMIDIデータはすべて内部のBassBoyにも伝えられますので、本来、BassBoyが持っていたすべてのMIDIの機能はBassBoy+を通して使うことができます。

BassBoyに関する詳細なマニュアルはオンラインにて、別途御入手ください。

英語版：

[http://www.mikroe.com/downloads/get/1621/bassboy\\_manual\\_v102.pdf](http://www.mikroe.com/downloads/get/1621/bassboy_manual_v102.pdf)

日本語版：

[http://beatnic.jp/manuals/bassboy\\_manual\\_jp.pdf](http://beatnic.jp/manuals/bassboy_manual_jp.pdf)

内部のBassBoyはLIVEMODEに設定されており、MIDI鍵盤などからのレガートの演奏（一つ前の音が切れる前に次の

音を演奏する技法）では、エンベロープジェネレータはリトリガーされず、音程は内部に設定された固定のスピードでポルタメント効果がかかります。（Auto-Slide効果）

### SHIFT

BassBoy+のパネルの6つのツマミのうち、左から3つのツマミには、2種類のパラメーターが割り当てられています。シフトスイッチでどちらのパラメーターを変更するかを決めます。

シフトスイッチを押せば、スイッチ上部のLEDが点灯し、押している間だけ、白枠で表示されたパラメーターを変更することができます。

シフトスイッチをダブルタップ（短いタイミングで2回連続でシフトスイッチをたたきます）する事で、スイッチ上部の

LEDが点灯したままになり、シフトロックすることが出来ません。

もう一度シフトスイッチをタップすれば、シフトロックを解除することができます。

## Wave

このスイッチは、オシレーターの波形を変更します。

上にセットすることで矩形波、下にセットすることで鋸歯状波となります。

MIDI入力からプログラムチェンジを入れることでも変化しますので、場合によっては、スイッチの状態と実際に出ている波形がずれることがあります。

この場合は、パネルのスイッチを入れなおすことで、実際の波形とスイッチのポジションを合わせることが出来ます。

## CUT OFF

### ACCENT

BassBoyは、内部にソフトウェアで実装されたローパスフィルタがあります。このツマミは、カットオフフリークエンシーを操作します。

左に回しきると、倍音成分を切り捨てるので音量が下がると共に、音色は丸くなります。また、右に回すとオシレーターが発振しているオリジナルに近い波形が出力されます。

シフトボタンを押すことによって、このツマミはアクセントの適用量を調整します。

アクセントは、鍵盤を弾く強さのベロシティーに対応しており、101以上の値で動作します。

アクセントの動作は、ディケイタイムが、最短(0.25秒)になり、レゾナンスの設定が深めであれば、フィルタのモジュレーションは緩やかに、レゾナンスの設定が浅めであれば、急激にモジュレーションします。

エレキベースなどのスラップ奏法のエミュレーションと考えると、自然かもしれません。

## PEAK

### DISTORTION

PEAKは、フィルタのカットオフフリークエンシーで設定した周波数のピークの量を設定します。

左に回せば、ほとんどピークは出ません。右に回すとピークが強くなり、(時計で言えば)4時が最大値、それを超えるとフィルタは自己発振を起こします。

演奏している音程とは別のフィルタのカットオフで設定する周波数の別の音が混じります。

シフトボタンを押すと、このツマミは、ディストーションを設定します。

オリジナルのBassBoyでは、このパラメーターは、出力の音量を上げる機能になっており、外部に接続したミキサーや、

アンプのヘッドルームを越えた音量を出すことで、外部機器を歪ませます。さらに、自分が出せる音量を超えて大きな音を出そうとする結果、デジタル的にクリップし、矩形波的な波形を出力します。

BassBoy+では、このツマミを上げると、トータルのボリュームを自動的に絞られるので外部機器を歪ませる事は(あまり)ありません。ただ、DACがクリップするので、出力される波形は、ツマミを上げるにつれ、徐々に矩形波へと、つぶれていきます。

## ENV MOD

### C-OFF STEP

カットオフ、ピークで設定したフィルタのセッティングをエンベロープジェネレーターでモジュレーションすることでダイナミックな音色の変化を作りますが、このツマミは、フィルタのモジュレーション量を調整します。

シフトボタンを押すことで、このツマミは、カットオフのモジュレーションの変化のステップを変更します。

カットオフのツマミの操作のグライド機能として使います。左に絞ると、ステップ数が減るので、演奏中にカットオフのツマミをすばやく動かしたとき、その変化は、徐々に現れます。右に振れば、カットオフのツマミの操作は、指の動きに追従して、サクサクと変化します。音色を作るためのパラメーターと言うよりは、フレーズの中でフィルタの動作のスピードを変化させて、新しいフレーズを創造する機能です。BassBoyのオリジナルの作者が自分の演奏の中でどうしても欲しかったパラメーターとして実装したのだそうで、使い込むことで、このパラメーターの面白さが分かってきます。

## DECAY

一般的な、4パラメーターのエンベロープジェネレーター(ADSR)のうち、BassBoyは、ディケイのみを実装しています。最小の設定で0.25秒、最長の設定で2秒です。

## DRIVE

BassBoyでは、FilterPreGainというパラメーター名で実装されていますが、BassBoy+では分かりやすく、フィルタをオーバードライブするという意味で、ドライブというパラメーター名に変えました。

ソフトウェアで実装されているフィルタへの入力の音量の設定です。ディストーションの違いは、こちらの効果のほうがよりナチュラルな歪みになります。

このパラメーターを上げることで、ピークの効果が若干弱まりますが、ディストーションとは違った、ファットなひずみを演出します。

## VOLUME

文字通り、ボリュームを調整します。

---

## 【仕様】

### Front Panel

CutOff / Accent knob

Peak / Distortion knob

ENV MOD / C-OFF STEP knob

Decay knob

Drive knob

Volume knob

Wave shape Switch( Saw / Sqr )

Shift Switch

(Upper 3 parameters can be changed by shift switch)

### Rear Panel

Power Switch

DC12V (AC adaptor input)

MIDI-IN (channel is fixed to 1ch)

OUTPUT (audio output  $\Phi$ 6.3mm)

### MIDI Specifications

MIDI-CH is fixed to 1ch / Note On / Note off

All the parameters on the front panel can be controlled by control changes.

### Size / Weight

140X80X35mm (without outshoot)

185g

---

"BassBoy" is Trademark of MikroElektronika. And beatnic.jp gets permission to re-sale of "BassBoy" from MikroElektronika.

beatnic.jp 推奨 AC アダプタ : Order ID #059 AC adapter 12V

MikroElektronika : <http://www.mikroe.com/>

BassBoy - Monophonic digital MIDI controlled bass synthesizer

: <http://www.mikroe.com/add-on-boards/audio-voice/bassboy/>

beatnic.jp : <http://beatnic.jp/>

BassBoy+ : <http://beatnic.jp/products/bassboyp/>

## beatnic.jp's BassBoy+

Digital based monophonic MIDI controlled  
bass synthesizer

### Owner's Manual

June-17, 2013 First edition

June-21, 2013 Rev.2

Copyright beatnic.jp 2013